



# 2014年度第1四半期決算の概要

2014年8月

株式会社 足利ホールディングス (東証1部:証券コード7167)

株式会社 足利銀行



➤ 第1四半期決算概要	2
➤ 預貸金平残・利回り	3
➤ トップライン	4
➤ 貸出金(末残)	5
➤ 預金等(末残)	6
➤ 個人預り資産／個人金融資産	7
➤ 有価証券	8
➤ 不良債権／与信関係費用	9
➤ 自己資本比率	10
➤ (補足)2014年上半期業績見通しに対する進捗	11

※特に表示がないものについては「銀行単体」の計数を掲載しています。

# 第1四半期決算概要

## 《足利銀行単体損益》

(億円)	11年度 第1Q	12年度 第1Q	13年度 第1Q	14年度 第1Q	前年 同期比	進捗率 (年度ベース)	年度 予算
業務粗利益	221	240	213	197	△ 15	+25.4%	777
コア業務粗利益	193	184	195	197	+2	+25.6%	772
経費	136	135	127	123	△ 4	+25.6%	481
実質業務純益	84	105	86	74	△ 11	+25.2%	296
コア業務純益	56	49	67	74	+7	+25.7%	290
与信関係費用	13	11	3	△ 0	△ 4	△ 1.2%	40
株式等損益	△ 4	△ 0	29	△ 0	△ 29	△ 1.6%	5
経常利益	65	91	110	73	△ 36	+28.8%	254
法人税、住民税及び事業税	0	6	4	32	+28	+41.8%	78
法人税等調整額	△ 0	△ 0	0	△ 0	△ 0	+0.0%	3
四半期(当期)純利益	65	84	106	40	△ 65	+23.7%	171

## 《足利ホールディングス連結損益》

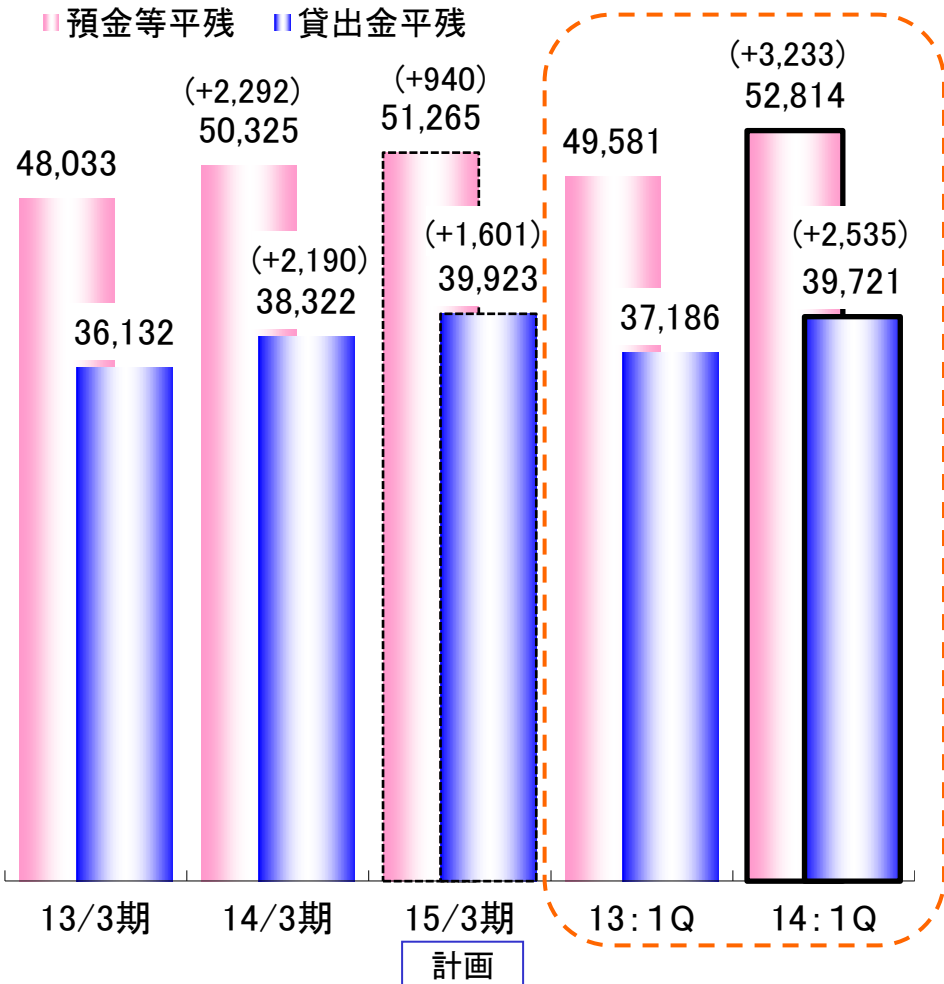
(億円)	11年度 第1Q	12年度 第1Q	13年度 第1Q	14年度 第1Q	前年 同期比	進捗率 (年度ベース)	通期業績 予想
経常収益	262	279	276	237	△ 39	+25.8%	920
連結粗利益	224	243	220	205	△ 14		
営業経費	157	156	149	145	△ 4		
与信関係費用	19	12	6	4	△ 2		
株式等損益	△ 4	△ 0	23	△ 0	△ 24		
経常利益	44	73	88	56	△ 31	+31.4%	180
法人税、住民税及び事業税	2	9	5	33	+28		
法人税等調整額	0	0	1	1	+0		
四半期(当期)純利益	41	65	81	21	△ 59	+14.2%	150

# 預貸金平残・利回り

- ◆ 貸出金平残、預金等平残とも、それぞれ順調に増加。
- ◆ 貸出金利回りは、低下傾向が続くも、ペースは鈍化し、概ね見通し通りの水準。

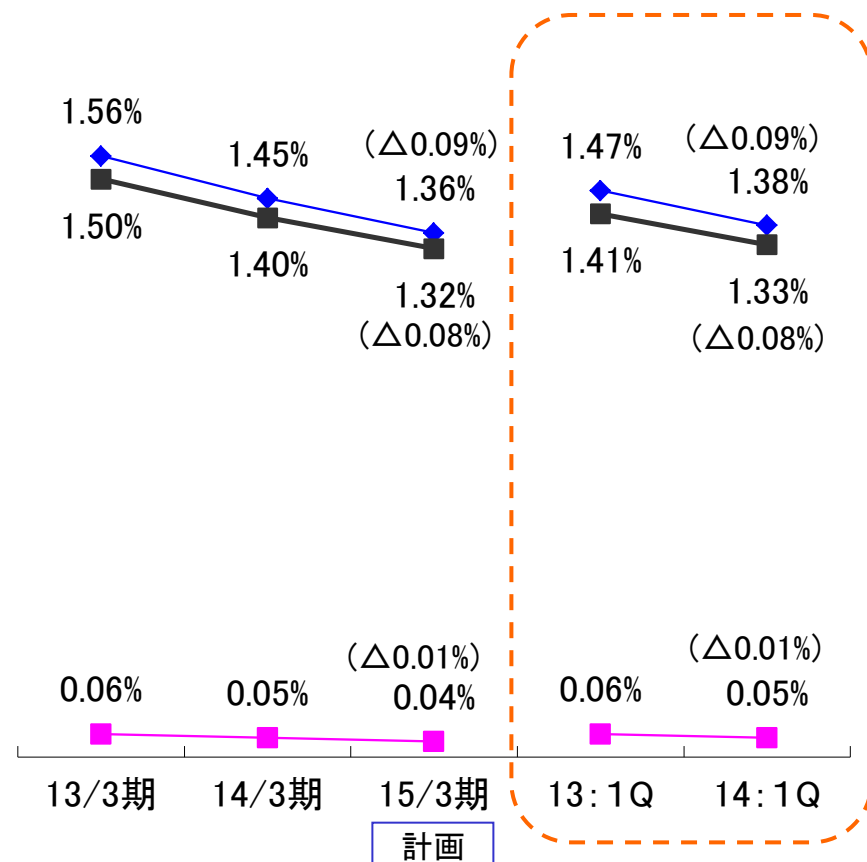
《貸出金平残・預金等平残の推移》 (億円)

■ 預金等平残 ■ 貸出金平残



《預貸金利回りの推移》

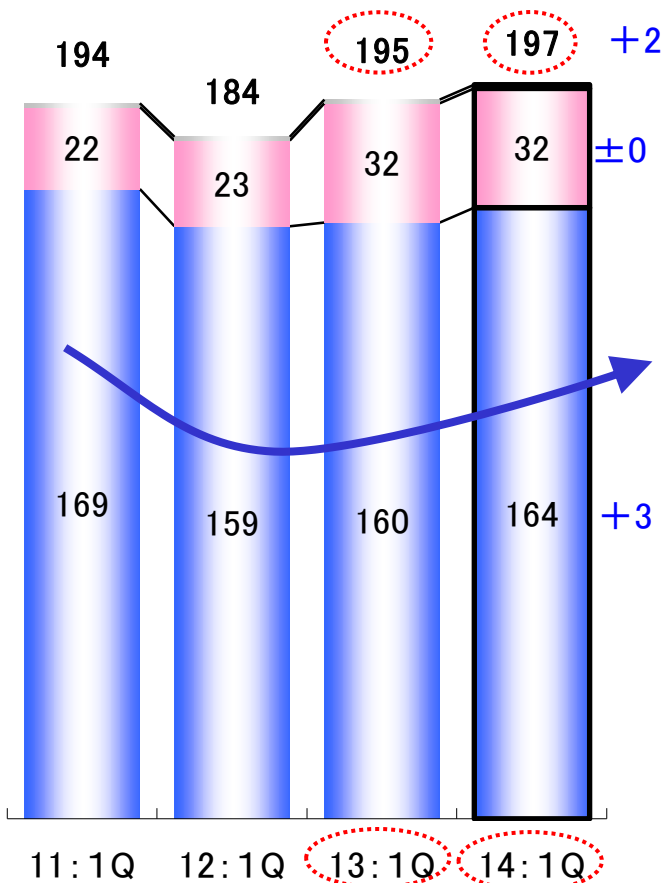
◆ 貸出金利回① ■ 預貸金利回差①-②  
 ■ 預金等利回②



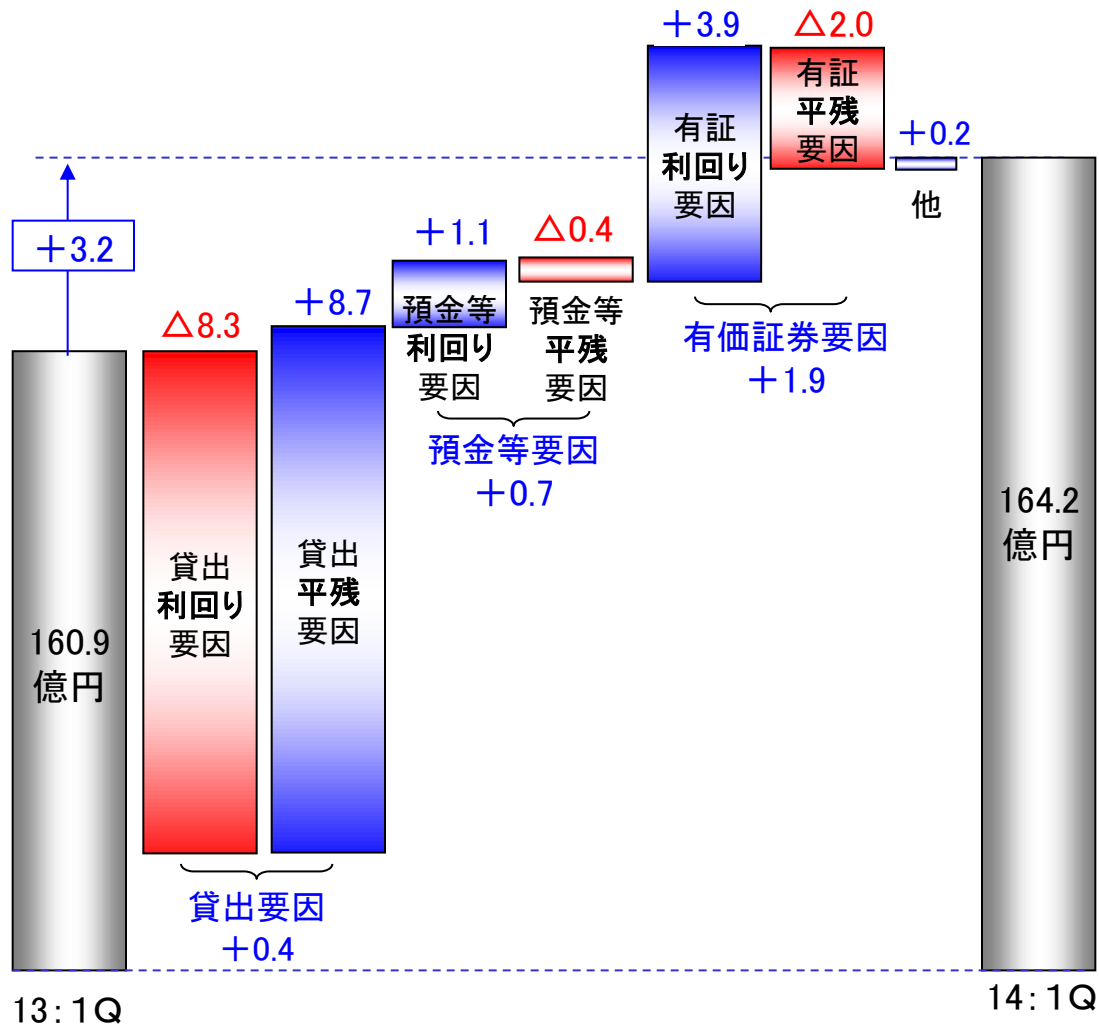
- ◆ コア業務粗利益は、前年同期比+2億円の197億円。
- ◆ うち資金利益は、前期同期比で、貸出、預金、有価証券の各要因がプラスとなり、+3億円の164億円。

《コア業務粗利益【BK単体】》 (億円)

■ 資金利益 ■ 役務取引等利益 ■ その他業務利益



《資金利益増減要因(前年同期比)》 (億円)

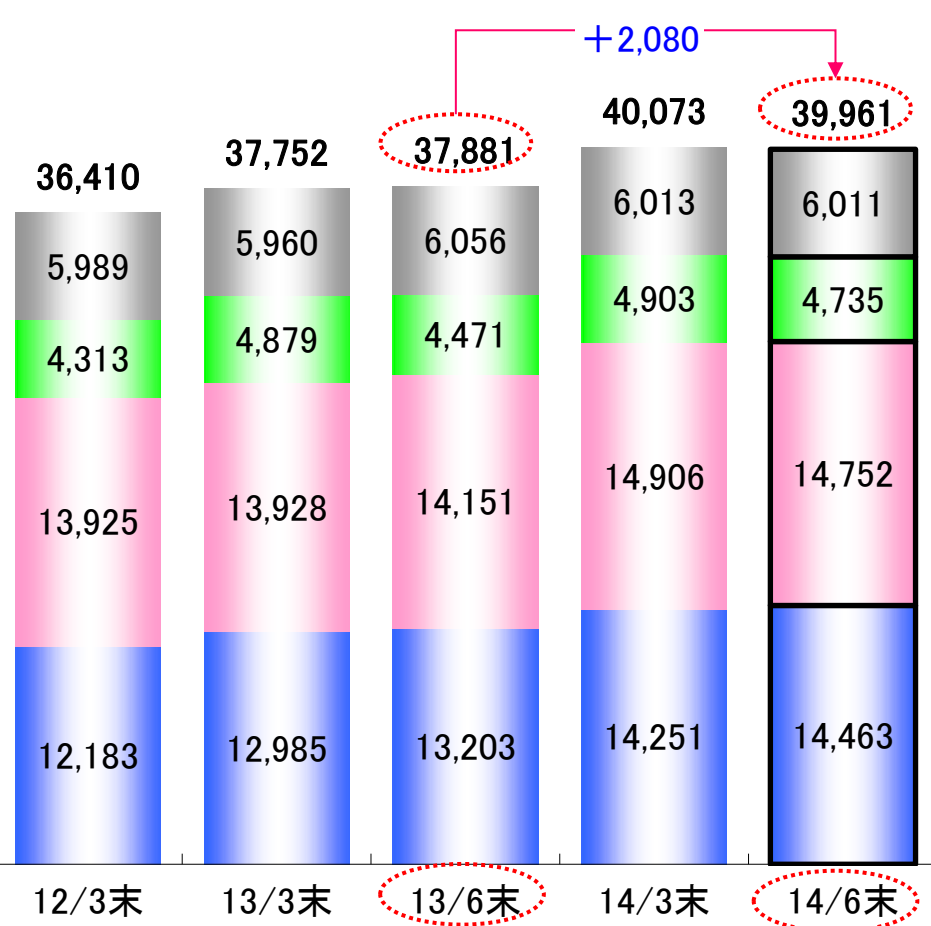


# 貸出金(末残)

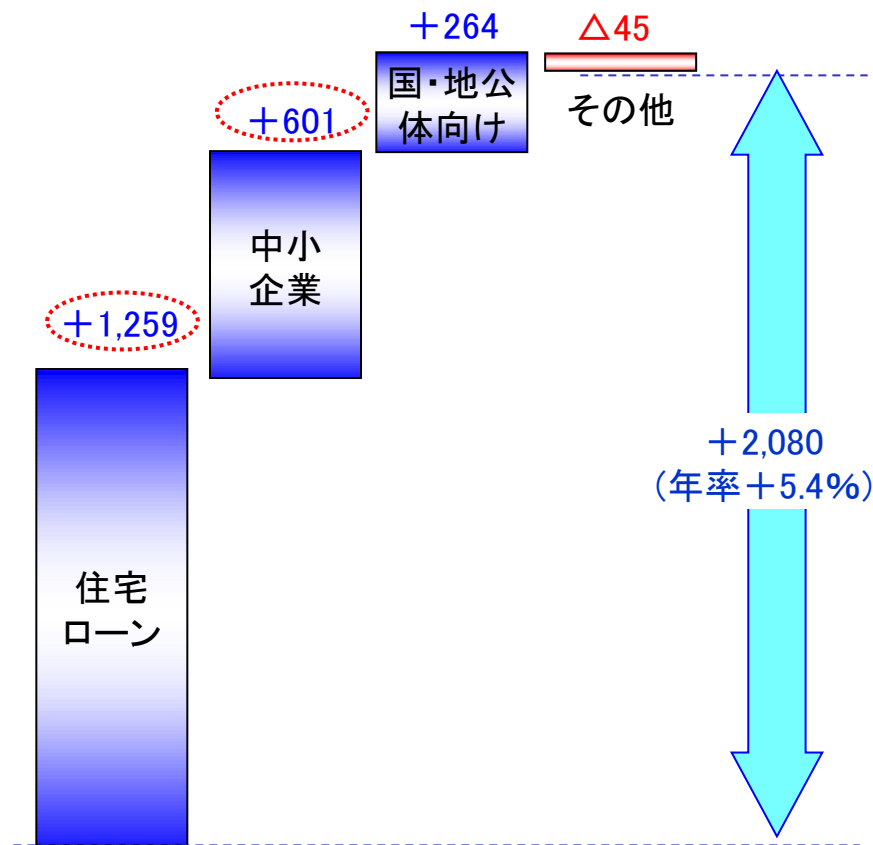
◆ 貸出金末残は、住宅ローン、中小企業向け貸出を中心に増加し、前年同期末比+2,080億円の3兆9,961億円(年率+5.4%)。

《貸出金残高の推移(末残)》(億円)

■住宅ローン ■中小企業 ■国・地公体向け ■その他



《貸出金残高の増減内訳(前年同期末比)》(億円)

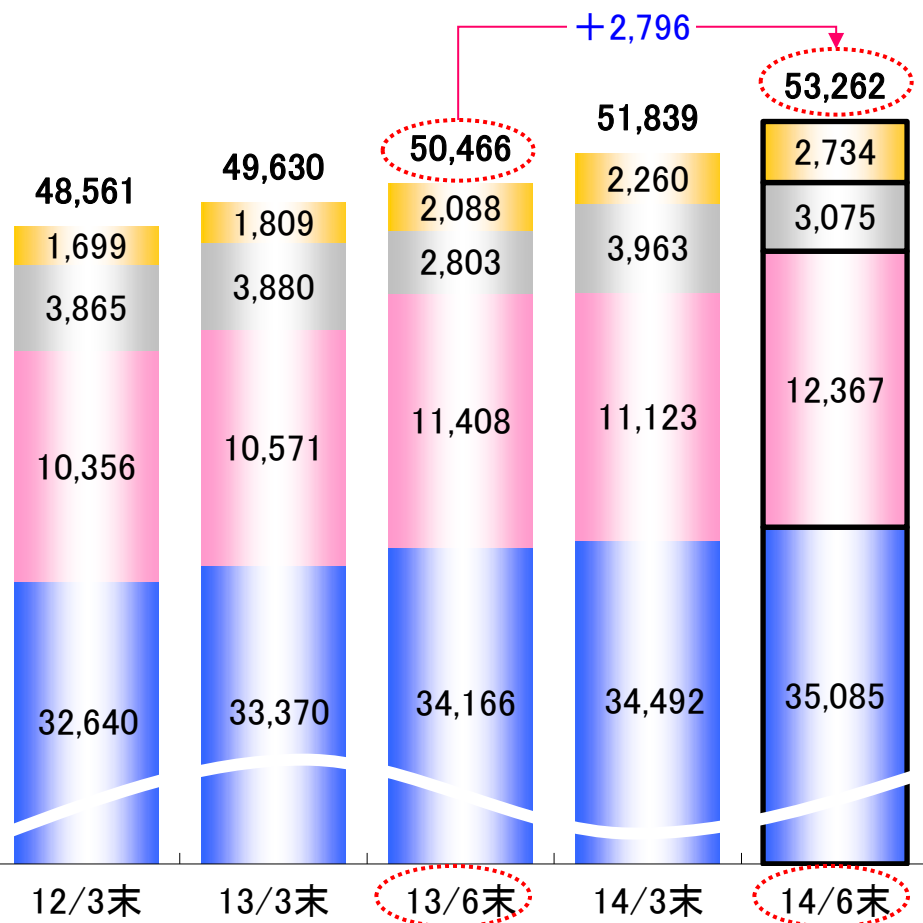


# 預金等(末残)

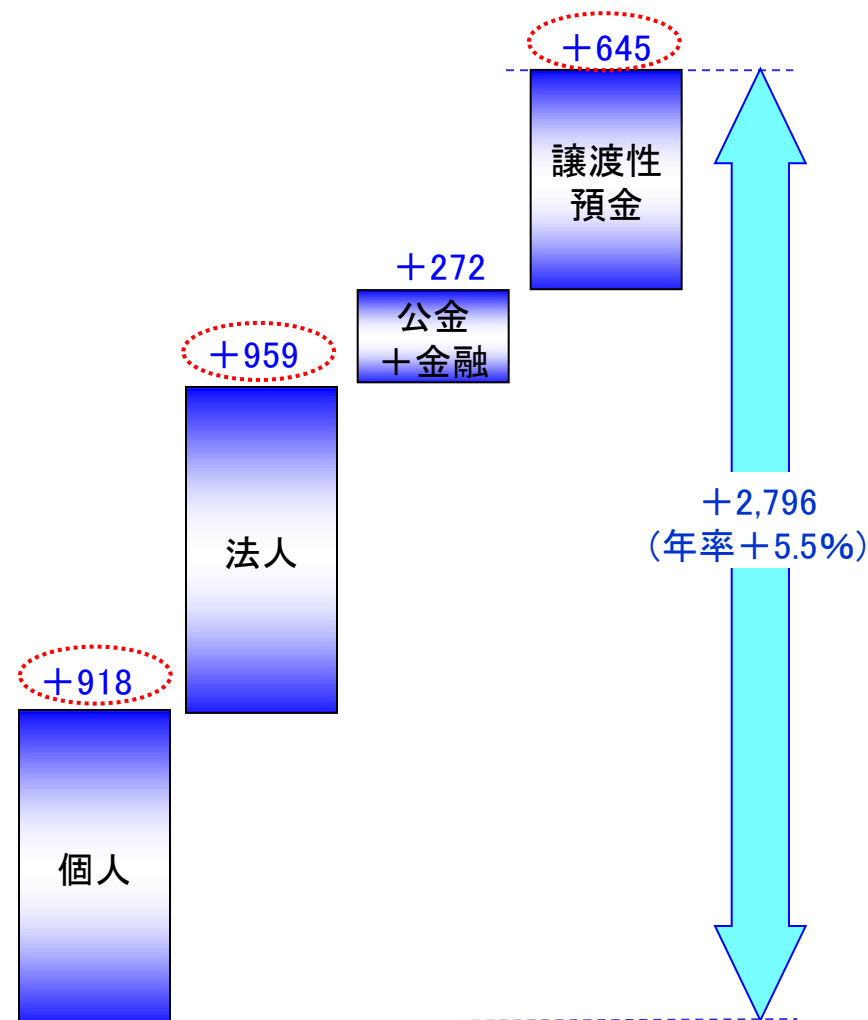
◆ 預金等末残は、個人、法人、譲渡性預金とも増加し、前年同期末比+2,796億円の5兆3,262億円(年率+5.5%)。

《預金等残高の推移(末残)》 (億円)

■ 個人 ■ 法人 ■ 公金+金融 ■ 譲渡性預金



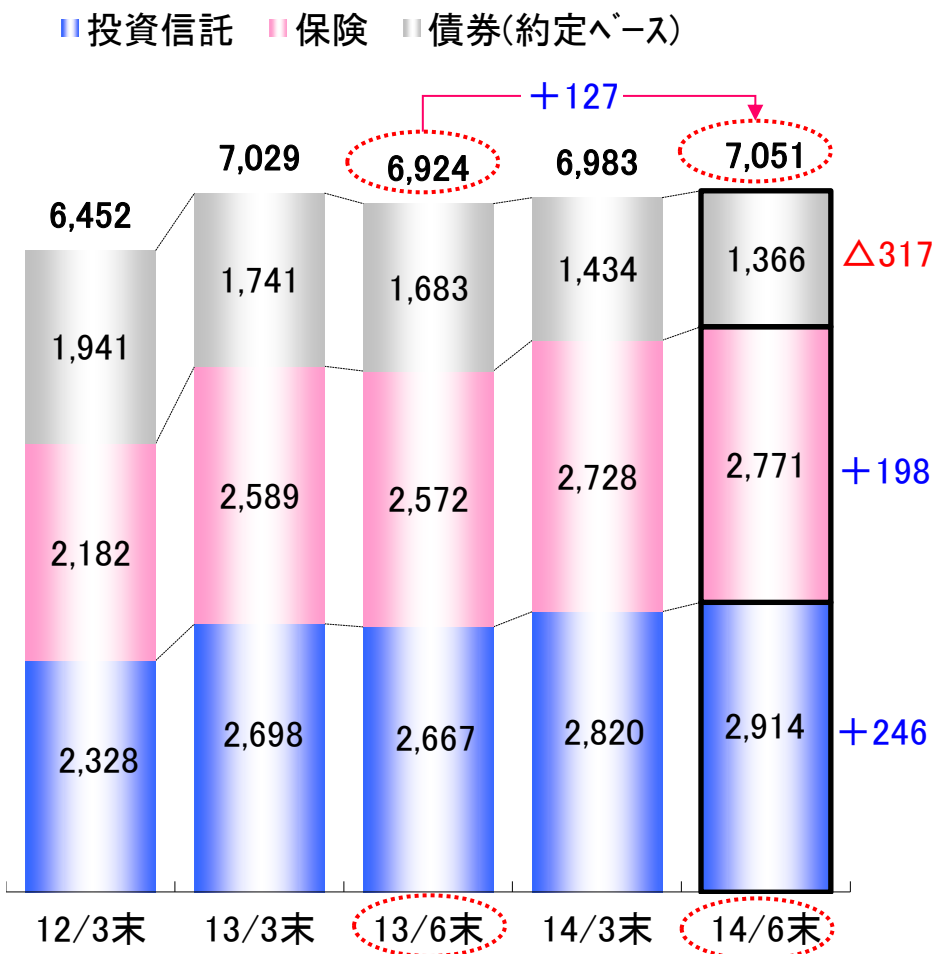
《預金等残高の増減内訳(前年同期末比)》 (億円)



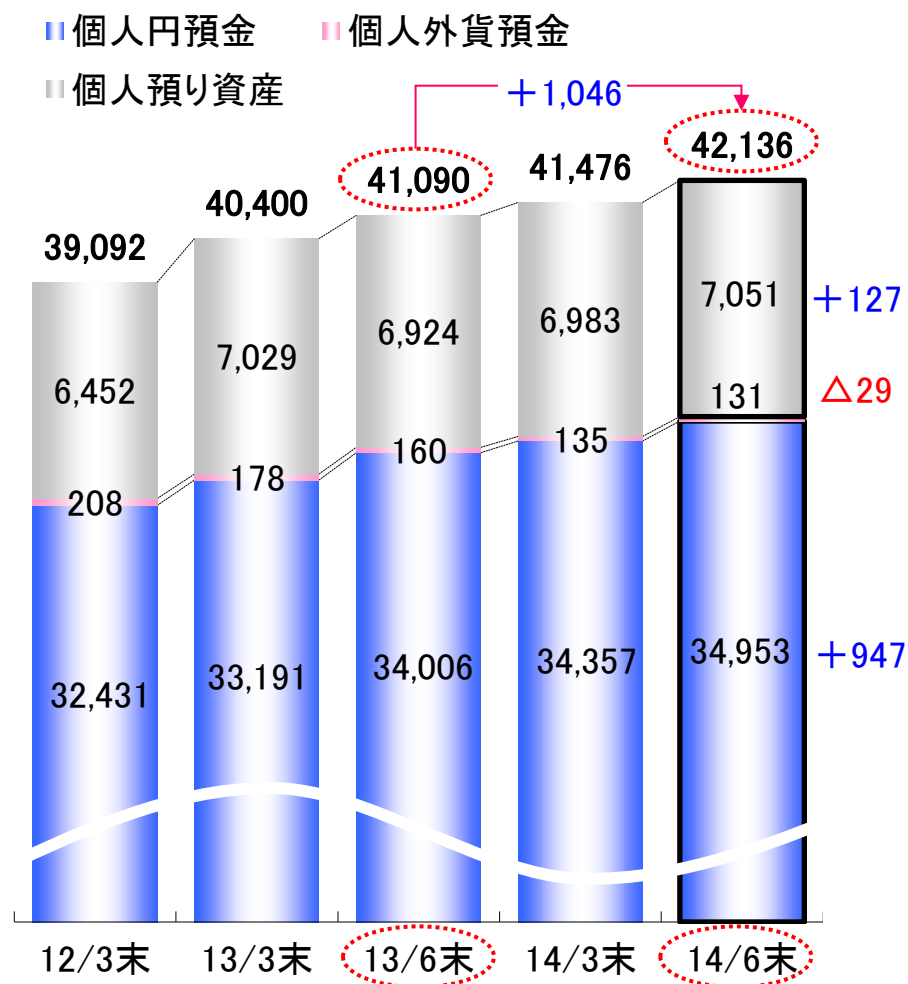
# 個人預り資産／個人金融資産

- ◆ 個人預り資産は、前年同期末との対比で、債券残高が個人向け国債の満期償還等により減少したものの、保険および投資信託の増加により前年同期末比+127億円の7,051億円。
- ◆ 個人円預金、個人外貨預金と個人預り資産を合わせた個人金融資産残高は、同比+1,046億円の4兆2,136億円。

《個人預り資産残高の推移(末残)》(億円)



《個人金融資産残高の推移》(億円)

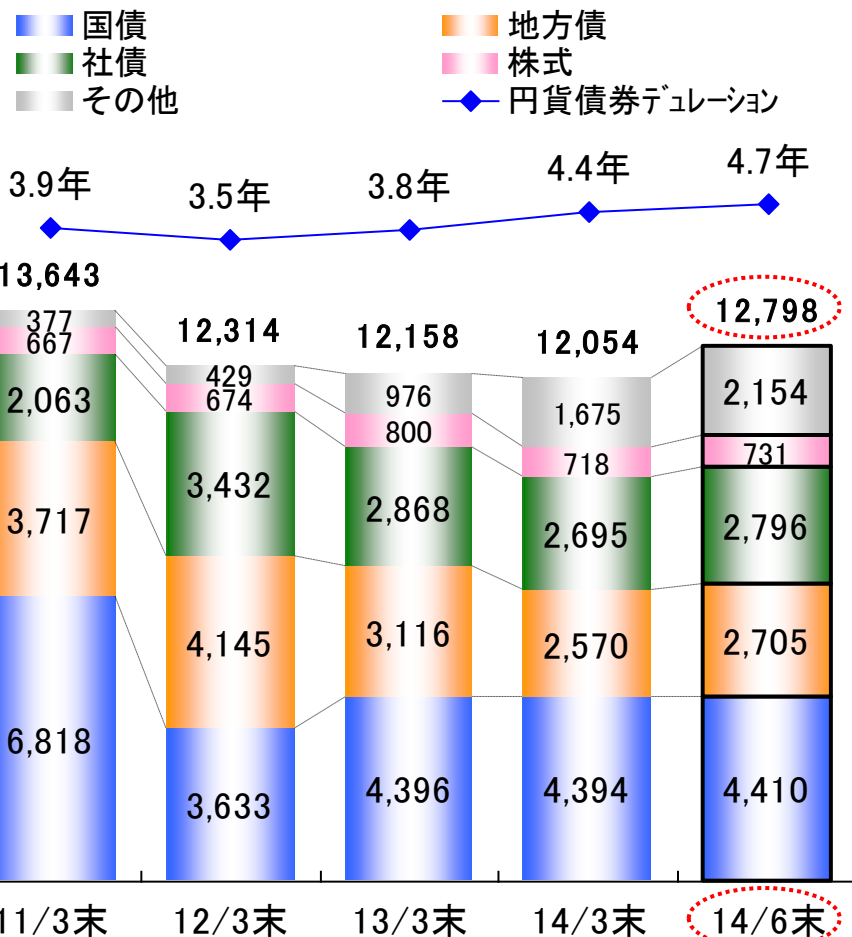




# 有価証券

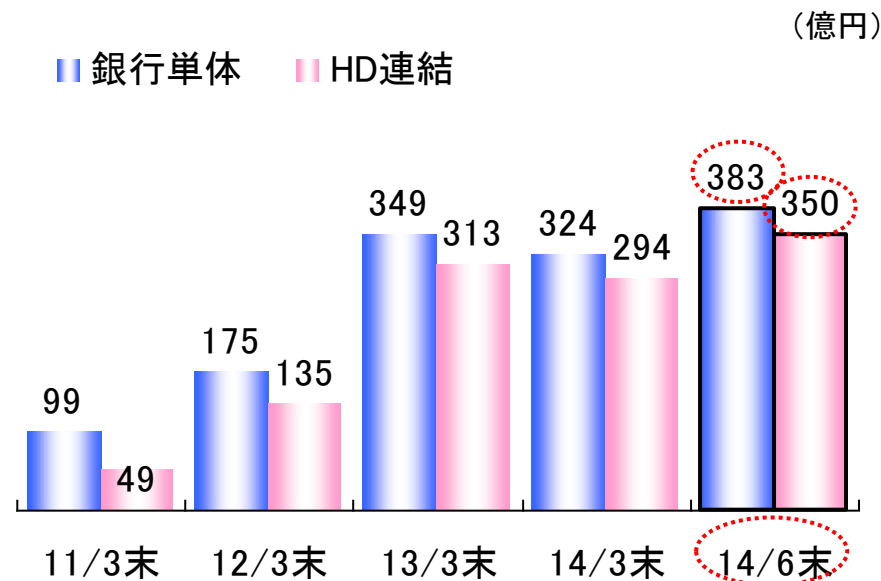
- ◆ 有価証券残高は、前期末比+744億円の1兆2,798億円。国債、地方債、社債、株式に加え、外国債券・投資信託等のその他の有価証券残高も増加。円貨債券のデュレーションは4.7年。
- ◆ 「その他有価証券(満期保有以外)」の評価損益は、銀行単体・HD連結とも前期末比増加。

《有価証券残高(末残)》(億円)



※円貨債券=国内債券+円建外国債券

《その他有価証券の評価損益(BK単体・HD連結)》(億円)



※その他有価証券=満期保有目的以外の有価証券

【BK単体】

	14/6末	14/3末比
評価損益	383	+59
債券	100	+35
株式	244	+13
その他	37	+10

【HD連結】

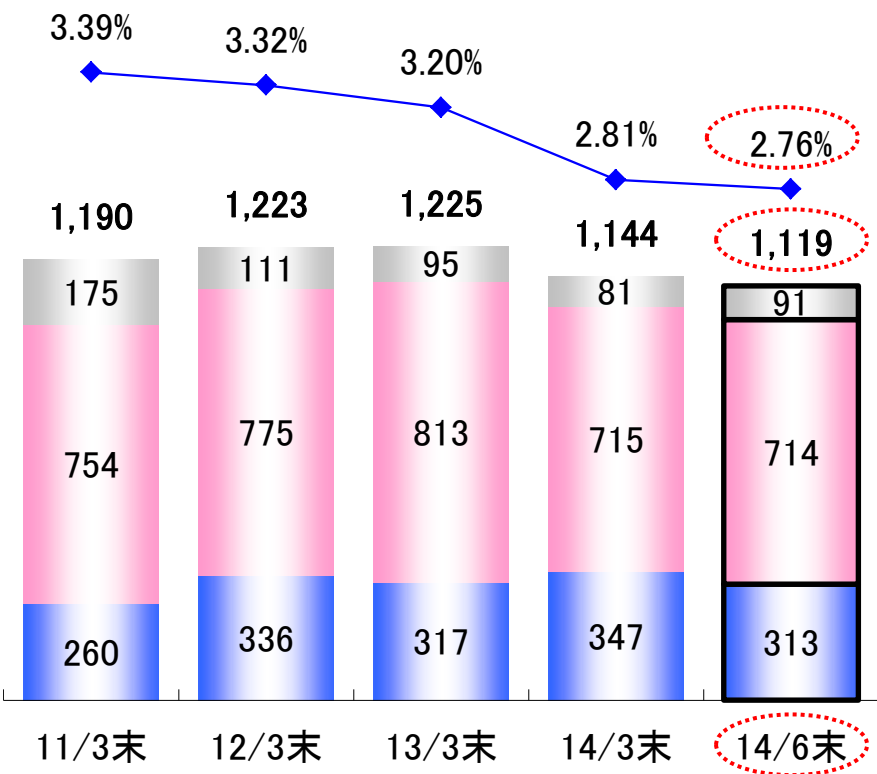
	14/6末	14/3末比
評価損益	350	+56
債券	100	+35
株式	208	+13
その他	40	+6

# 不良債権／与信関係費用

- ◆ 不良債権(金融再生法開示債権)残高は、前期末比△25億円の1,119億円。不良債権比率は前期末比△0.05%の2.76%。
- ◆ 与信関係費用は、銀行単体が△0.5億円、HD連結が4.2億円と低位で推移。

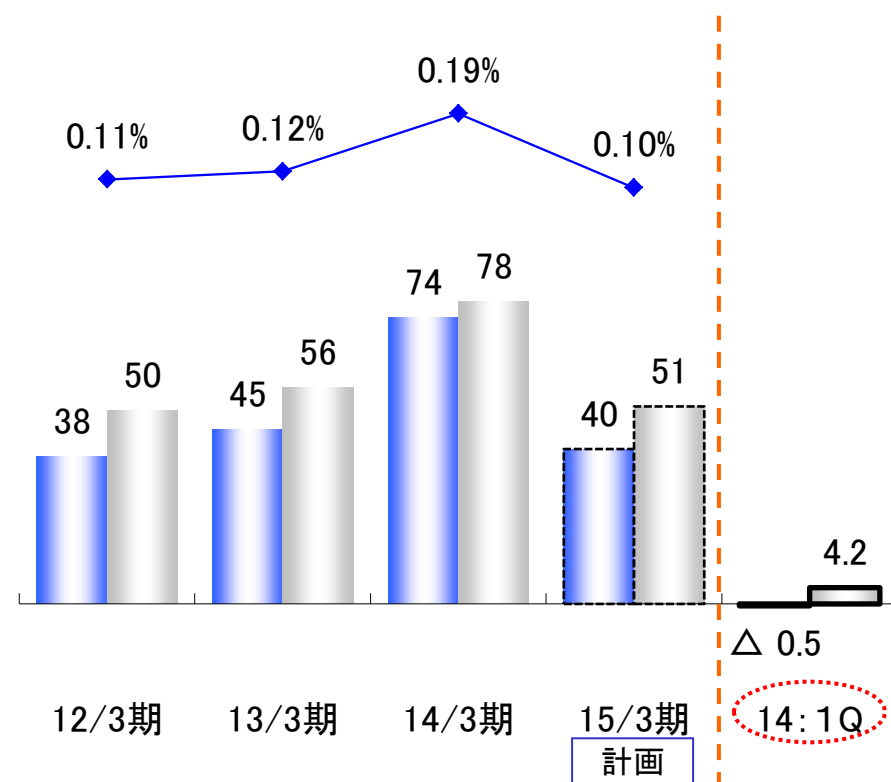
《金融再生法開示債権の推移》 (億円)

■ 要管理債権      ■ 危険債権  
■ 破綻更生債権等      ◆ 不良債権比率



《与信関係費用【HD連結・BK単体】》 (億円)

■ BK単体   ■ HD連結   ◆ BK与信関係費用比率

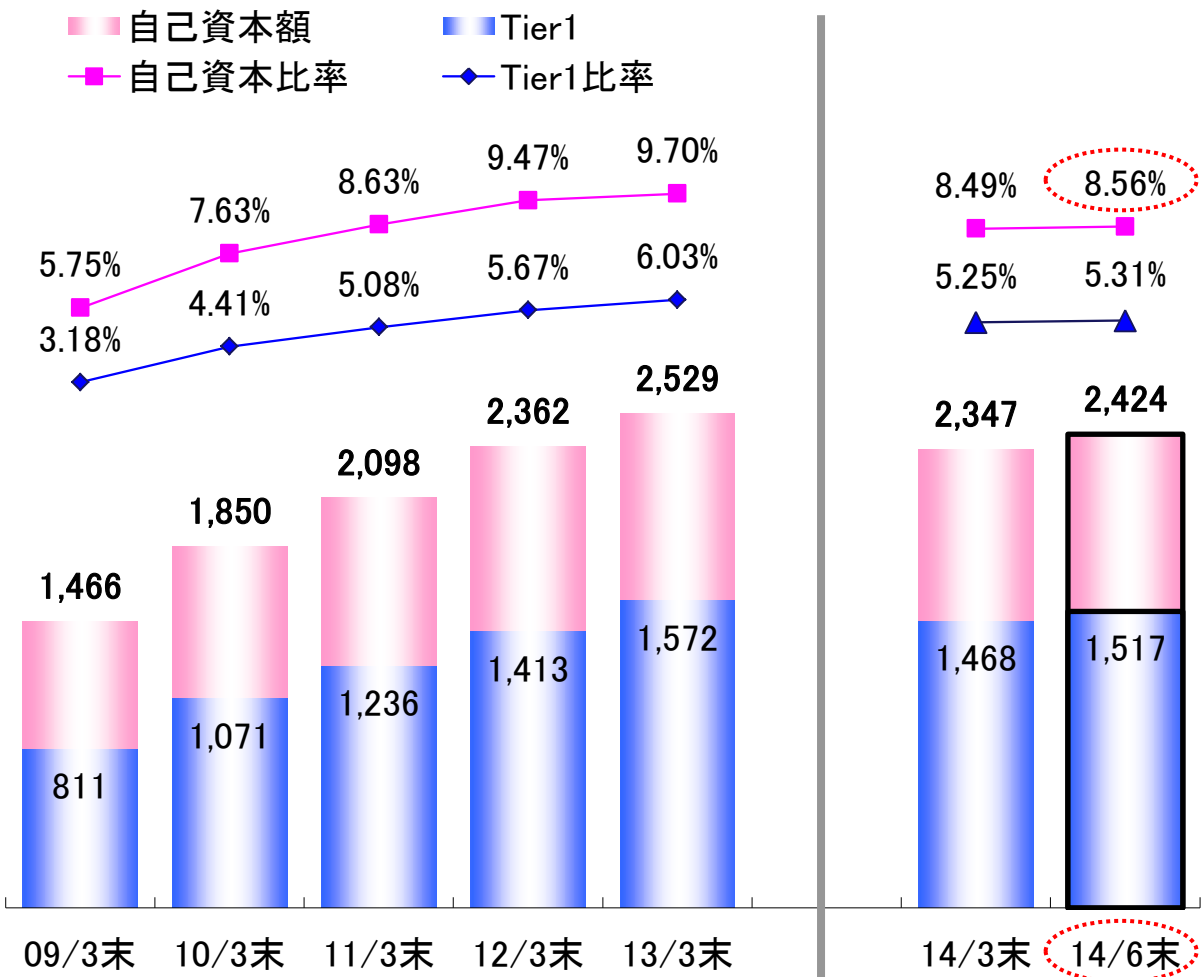


※与信関係費用比率=与信関係費用／貸出金平残

# 自己資本比率

◆ 自己資本比率は、14/3期末よりバーゼルⅢ国内基準が適用され。14/6末のHD連結の自己資本比率は、経過措置適用後で8.56%、経過措置適用なしベースで5.31%。

《HD連結ベースの自己資本比率》（億円）



経過措置

- 適用あり
- 適用なし
- 適用あり

(新国内基準)

主な経過措置

**劣後債務**  
800億円  
・2015/3期より  
10%ずつ減額

バーゼルⅡ ←

→ バーゼルⅢ

# (補足)2014年度上半期業績見通しに対する進捗

## 《足利ホールディングス連結》

(億円)	上半期 見通し	第1四半 期実績	上半期 進捗率	通期 見通し
連結経常収益	450	237	52.8%	920
連結経常利益	80	56	70.6%	180
法人税、住民税及 び事業税	40	33	83.8%	80
法人税等調整額	0	1	-	▲50
連結当期純利益	40	21	53.6%	150

➤ 法定実効税率：  
35.37%

➤ 税負担が大きく見える  
主な要因：  
のれん償却 62億円  
(損金不算入)

➤ 連結納税移行による  
繰延税金資産の増加

➤ 税負担率が高い主な要因

- ① のれん償却 15億円
- ② 一般貸倒引当金の無税繰入限度額減少(課税所得増加) 約40億円 等  
(税務上の貸倒実績率低下0.18%→0.07%)



事前に株式会社足利ホールディングスの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。